青少年のための音楽会

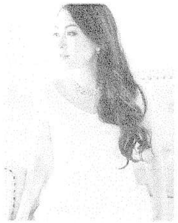
横浜交響楽団 第681回定期演奏会

【オペラの名曲】

1.ヴェルディ：歌劇「アイーダ」より “清きアイーダ” ほか
2.サン=サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」より “あなたの声に心は開く” ほか
3.ビゼー：歌劇「カルメン」より “ハバネラ” ほか

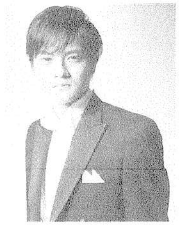
＊＊＊

4.ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
5.ワーグナー：歌劇「ローエングリン」より 婚礼の合唱
6.ワーグナー：歌劇「さまよえるオランダ人」より “水夫の合唱” ほか
7.ワーグナー：歌劇「タンホイザー」より“歌の殿堂を讃えよう” ほか



メゾ・ソプラノ 秋本 悠希

テノール 工藤 和真



バリトン 田中 俊太郎

合 唱　横響合唱団
管弦楽　横浜交響楽団　指 揮　飛永悠佑輝

日時　平成29年9月20日（水） 6:30 p.m. 開場 7:00 p.m. 開演
会場　神奈川県立音楽堂（横浜市西区紅葉ケ丘）　入場料 ¥1,000（全自由席）

前売所　チケットポート（横浜駅東口地下街ポルタ内） TEL 045-453-2871
チケットかながわ TEL 0570-015-415
（神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場・神奈川県立音楽堂）
横浜読売プレイガイド TEL 045-201-9748 http://www.y-playguide.com/
（横浜読売プレイガイド⇒電話・HPでお申し込みください。店頭での販売はありません。）
e＋（イー・プラス） http://eplus.jp/

主催／横浜交響楽団　共催／横浜市文化観光局　後援／神奈川県教育委員会

「青少年のための音楽会」では、横浜市内の公立小・中・高・特別支援学校の児童・生徒さんをご招待しています。鑑賞をご希望の方は学校毎に所定の申込書でお申し込みください。

お問い合わせ先
横浜交響楽団事務局　TEL 080-3308-1321　http://www.yokokyo.net/

【オペラの名曲】

［横響・横響合唱団がお届けするオペラプログラム］

次回の定期演奏会はオペラ特集です。
通常オペラは金銭面や開催頻度的にそうそう行かれませんが、今回は演奏会形式で３人のソリストを迎え、ヴェルディとワーグナーという２大オペラ作曲家をはじめ４人の作曲家から７つのオペラを取り上げたお得なプログラムです。それでは簡単にそれぞれのオペラのあらすじをご紹介しましょう。

ヴェルディ「アイーダ」：
舞台は古代エジプト。エジプトに捕らわれたエチオピアの王女アイーダと敵国エジプトの将軍ラダメスとの恋物語。エチオピアとの戦いに勝利して将軍ラダメスがエジプトに凱旋する。エジプト国王は娘の王女アムネリスをラダメスに与え、国を継ぐように命じる。エジプトの捕虜の中にはアイーダの父もおり、ラダメスからエジプトの軍事機密を聞き出すようアイーダに指示する。ラダメスを愛してしまったアイーダはラダメスに国を捨てて二人で暮らそうと誘い、ラダメスも同じ思いだったが、そのことがアムネリスにばれてしまう。ラダメスはアイーダ父娘を逃がすが、軍事機密を漏らしアイーダ父娘を逃がしたことで捕まってしまい、地下牢に生き埋めの刑となる。地下牢には忍び込んでいたアイーダがおり、二人は永遠の愛で結ばれる。

サン=サーンス「サムソンとデリラ」：
舞台は紀元前1100年頃のパレスチナ、ガザ地区。当時ペリシテ人に支配されていたヘブライ人を怪力サムソンがペリシテ人の支配者を倒して解放する。しかし、サムソンは敵方であるペリシテ人の妖艶なデリラに心を奪われ、自分の力の源が髪の毛にあることを漏らしてしまう。髪を切られ無力となったサムソンはペリシテ人に捕らわれ牢獄に入れられる。再び支配を取り戻したペリシテ人が神殿で勝利の宴を催す中、連れてこられたサムソンが神に祈り怪力を取り戻して、最後はその場のペリシテ人と神殿の崩壊とともに息絶える。

ビゼー「カルメン」：
19世紀初頭のスペインのセビリア。タバコ工場で働くジプシーのカルメンは喧嘩騒ぎで捕まるが、護送役の伍長ドン・ホセを誘惑し逃がしてもらう。カルメンに心を奪われたホセは軍隊を辞めジプシーの仲間となる。ホセは婚約者ミカエラの説得にも応じずカルメンに熱を上げるが、カルメンの恋心は既に闘牛士エスカミーリョに移っており、無視される。復縁を迫るホセとカルメンが揉み合い、激昂したホセがカルメンを刺し殺し、幕を閉じる。

ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」：
16世紀中ごろのドイツ、ニュルンベルク。中世ドイツでは商工業が発展し、それぞれの職種で職人として研鑽を積み、最終試験に合格すると親方の地位が与えられる制度があった。マイスタージンガー（職匠歌人）もその一つであり、月に一度のコンテストでその歌の技術を競い合っていた。町にやってきた騎士ヴェルターは町の娘エーファと出会い恋に落ちる。エーファの父は町の歌合戦の優勝者に全財産と娘エーファを与えることとし、ライバルの出現などの末、最後にヴェルターが歌合戦で優勝し、マイスタージンガーの称号を与えられエーファと結ばれる。

ワーグナー「ローエングリン」：
10世紀前半、現在のベルギーのスヘルデ河畔を治めていた公国の大公が死去したとき、伯爵テラムントは大公の娘エルザが公国の後継ぎたる行方不明の弟を謀殺したと国王に訴える。国王は一騎打ちで決着をつけるよう命じ、エルザは夢に出てきた騎士を指名する。エルザが祈るとその騎士が白鳥とともに現れ、騎士は名前や素性を尋ねないことを条件にテラムントと戦い、勝利する。エルザと騎士は結婚するが、その晩エルザは騎士に名前とその素性を訪ねてしまう。騎士は自分が聖杯守護の騎士ローエングリンであることをエルザと皆の前で明かし、この地を去ることになる。再び現れた白鳥の妖術が解け、白鳥は弟の姿に戻るが、去っていくローエングリンに対し、エルザは悲しみのあまり弟の腕の中で息絶える。

ワーグナー「さまよえるオランダ人」：
18世紀のノルウェー、悪魔に呪われた船のオランダ人船長は死ぬことも許されず、海をさまよっている。７年に一度許される上陸の時に永遠の愛を誓う女性が現れれば呪いが解けるという。ある日、そのオランダ人は船長ダーラントが乗るノルウェー船に出会い、ダーラントにゼンタというひとり娘がいることを知る。ダーラントは「ゼンタを妻にもらえるなら全財産を渡す」というオランダ人の申し出を受ける。ゼンタも自分はオランダ人を救う聖なる女性だと信じていたところへダーラントがオランダ人を連れてくる。オランダ人と永遠の愛を誓ったゼンタにはエリックという恋人がおり、エリックはゼンタを責める。この話を陰で聞いていたオランダ人は絶望し、船を出港させる。ゼンタはオランダ人への真の愛を誓い海へ身を投げる。呪われた船は沈み、オランダ人の呪いは解かれ、二人は永遠に結ばれる。

ワーグナー「タンホイザー」：
13世紀初頭のドイツ、禁断の地でヴェーヌスと官能に溺れていたタンホイザーが故郷へ戻ると恋人のエリザベートが待っていた。故郷で行われた歌合戦で友人ヴォルフラムがエリザベートを想い精神的な愛を歌うのに対し、タンホイザーはヴェーヌスを想い、快楽・官能の愛を歌う。禁断の地へ行ったことを知った領主は罪を償うためにローマへ行って教皇に許しを得るよう、タンホイザーに言い渡す。ローマへ行ったものの、許しを得られず故郷に戻ったタンホイザーはエリザベートの死を知る。彼女の死に絶望したタンホイザーも息絶えるが、彼の魂はエリザベートの犠牲によって救われる。

オペラには、「愛と死」「絶望と救い」「喜びと悲しみ」といった相反するテーマが織り込まれています。今回の演目はどれも異なる時代背景の物語ですが、織り込まれたテーマは私たちにとっていつの世も恒久不変であるがゆえに、観るものに時代を超えて感慨を与え続けるのでしょう。そのような壮大なスケールで描かれるいくつもの物語、その一端を覗きに、次回の演奏会にお出かけください。オペラの醍醐味を少しでもお楽しみ頂けるよう、横響と横響合唱団がお役に立てれば幸いです。

（宇多）

2017年10月29日(日) 第682回定期 県立音楽堂 午後２時

【交響曲の名曲①】

1. 歌劇「オベロン」序曲…………………… ウェーバー
2. ホルン協奏曲第１番変ホ長調…………… R.シュトラウス
ホルン：平本　彩

＊＊＊

3. 交響曲第５番ハ短調「運命」…………… ベートーヴェン

指揮　鈴木 衛（まもる）

都合により曲目を変更することがあります。